

1年部” Where there is a will, there is a way.” より
残り1ヶ月の一年生となりました。

クラスそれぞれで面談が行われた、あるいは行われている所だと思います。その話の中で新2年生になった時、どういう自分でいたいのか、どうやって学習しているのか、等々担任の先生と様々な話をを行ったと思います。前号でも述べたことですが、これから行事等の関係で家庭学習の時間が増えます。その時、どのようにその時間に向き合えるか、その姿勢は2年新学期につながりますよ。疎かにしないでください。

第3回進研記述模試結果を受けて

第2回→第3回 数値は平均点偏差値

国数英3教科 48.8 ↗ 49.8

国語 48.8 ↘ 48.4

数学 50.8 ↗ 51.8

英語 46.9 ↗ 48.6

これを見てどう思いますか?やり直してきていない人、急いでこの時期に見直しを。

2年部より

学年末考査が終わったかと思いきや、2年生初のマーク試験全科目受験に臨むという、余裕のない毎日だったかと思えます。2年次の模試は今回で最後ですが、模試後の復習はみっちりできたでしょうか?また、その習慣はついているでしょうか?来年度は今年度の比ではないほどに模試の回数が増えます。その都度弱点を克服しておかないと、同じ間違いを繰り返すことになりかねません。「2年生の2学期からは理地公科目を」、という金子学年主任の言葉を覚えていますか?国数英の3科目にまだ穴がある人は、早めに埋めておきましょう。もう自覚しているとは思いますが、理地公科目は情報量が多い分、慌てて詰め込もうとしても難しいです。その上での問題演習が必要です。センター試験のみの科目もあるでしょうが、センター方式と記述式のそれぞれに問題の特徴がありますので、暗記さえしておけばセンターも記述も大丈夫、ということはありません。しかし、知識量は絶対的に必要です。さらに、語句は正確に覚えておかないと、小論文などで足をすくわれる(誤字で減点)こともあり得ます。地歴公民科目での知識も、理科科目での知識も、今後あらゆるところで必要とされるものですので、受験での必要のあるなしに関わらず、しっかり学んで身につけておいてもらいたいですね。

3年部より

2月25日に国公立大学2次試験前期日程が行われました。今年は国公立大学合計で100,547人の募集人員に対し、465,708人が志願しています。前年度比で見ると志願者数は少し減少していますが、これは少子化による受験生自体の人数が減少しているため割合で見ると前年度とほぼ変わらない状態です。

今年度の学部系統別の志願状況を見ると

《増加》

農・水畜産・獣医系 (前年比9%増)

社会・社会福祉系 (同7%増)

外国語系 (同7%増)

医学系 (同6%増)

医療・看護系 (同3%増)

《減少》

歯学系 (同9%減)

薬学系 (同7%減)

体育系 (同6%減)

工学系 (同5%減)

とくに社会・社会福祉系と医療・看護系は、17年に引き続き志願者増となり、女子を中心とした安定した「資格志向」が、農・水畜産・獣医系統と同様に反映されたようです。

前回の進路ニュースでは、3年生の中で小論文が試験に出てくる話でしたが、2次試験は各大学により、出題が様々です。英文の小論文や総合問題、英語による面接試験。教科でも国数英や理科数学、英語数学などいろいろな組み合わせがあります。選択もあれば必答など事前に知っておかなければ対策が大変になります。最近では英語を用いた面接・小論文、外部検定を活用して受験など大学入試はどんどん変化しています。今のうちからしっかり受験に向けて大学の情報を得るようにしましょう。

この後は、中期日程、後期日程とまだまだ試験は続きます。後期も面接・小論文や教科での受験など様々あります。2年生は1年後の自分をイメージしながら計画的な学習に取り組んでください。1年生はまずどんな大学があるのか、どんなことが学べるのか調べてみてください。自分の将来についてしっかり考えましょう。

資料 旺文社 教育情報センター 2018年3月

毎日新聞

